

**基本情報**

科目分類	専門科目	開講年次	2・3・4年
時間割コード	4H090	開講区分	第4クォーター
開講科目名	E S D演習II 2（国際人間科学）	曜日・時限	金5
主担当教員	松岡 広路	単位数	1.0
授業形態	演習	ナンバリングコード	H1HZ202

[担当教員一覧](#)**詳細情報**

<p>■授業のテーマ</p> <p>(ESDコース修了認定科目)</p> <p>ESDとは、あらゆる人が互いに連携・協働しながら持続可能な開発を実現する主体になるような仕組み（場・装置・活動）のことです。 ESDコースでは、さまざまな社会セクターのなかでESDが立ち現れる仕掛けを作っていく「新しいタイプのリーダー」を育成します。</p>
<p>■授業の到達目標</p> <p>ESD演習 I、II-1にひきつづき、アクション・リサーチを探究します。ESDの現実を踏まえて、実践的研究・研究実践の基礎を習得することを目標としています。</p>
<p>■授業の概要と計画</p> <p>ESD基礎A・ESDボランティア論・ESD論・ESD生涯学習論、および、ESD基礎B、ESD演習 I などのESD関連科目で学んできたことをまとめるとともに、フィールドワークやワークショップを通して、実践的に調査・分析・研究し、アクションリサーチの本質を理解する。</p> <p>ESD演習 I でおこなったアクション・リサーチをさらに深めるべく、学生のイニシアティブの高い授業形式をとります。</p> <p>※他学部のESD演習メンバーとの交流・発表会である「ESD交流会（2月初旬）」において活動・研究発表を行います。</p>
<p>■成績評価方法</p> <p>平常点・レポート。</p>
<p>■成績評価基準</p> <p>成績は90点以上をS（秀）、80点以上90点未満をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とする。</p>
<p>■履修上の注意（関連科目情報）</p> <p>ESD演習 I -1・2、II-1（国際人間科学）を連続履修しておくこと。単独での履修は認められません。</p>

また、ESDコースの他の科目（ESD基礎A、ESDボランティア論、ESD論A/B、ESD生涯学習論A/B）のうち、4単位を習得しておくことが望ましい。

■事前・事後学修

適宜指示します。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

■学生へのメッセージ

ESDをより深く知りたい方向けのESD関連授業の決定版ですので、ぜひ通年で履修してください。高い学習効果を保障します。

■教科書

授業中に指示する。

■参考書・参考資料等

授業中に指示する。

■授業における使用言語

日本語

■キーワード

アクションリサーチ ワークショップ フィールドワーク 持続可能な開発 SDGs運動

■参考URL

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymysys/student/yellow/esd/index.html>

<https://esdplat.wixsite.com/will>

<http://rce.h.kobe-u.ac.jp/>

## 担当教員一覧

教員	所属
松岡 広路	人間発達環境学研究科
清野 未恵子	人間発達環境学研究科